

令和7年度

あらかわにし

秩父市立荒川西小学校

栽培・勤労体験

全校での
取組

じゃがいも、人参、玉葱、大蒜の収穫



収穫した野菜を使ってカレーライスづくり

地元百貨店や神社での野菜の販売

特色

- 本校では、環境学習の一環として栽培活動に力を入れている。さまざまな種類の野菜を自分たちで育て収穫し、その野菜を使い、学校行事で保護者とカレー作り体験を行った。野菜の販売体験では、販売するために育てる野菜を児童が決めて育て、収穫し、秩父市内にある百貨店や神社で野菜の販売を行った。
- 野菜を販売して得た収益金の用途については、代表委員会を中心に考え、トートバッグを制作することとなった。バッグのデザインは全校に呼びかけ、デザイン案の中から投票で決めた。

児童の感想

- カレーに入りたい具材を、草むしりを頑張り上手に育てられた。美味しく食べることできて、とてもうれしかった。
- 普段、買い物に行く百貨店で、自分たちが育てた野菜を販売することができ、野菜を育てる大変さと達成感を味わうことができた。

成果

- 栽培活動を通して、荒川地区の豊かな環境の恵みに気付き、郷土愛を育むことができた。また、地域との繋がりを強化できた。
- 野菜の収益金の用途について、児童に考えさせることにより、幅広い視点に立って物事を見る力を養うことができた。